

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

東宮下小学校



1 「かしこく・やさしく・たくましく・一生懸命に」を学校教育目標に、『豊かな心を持ち、互いに認め合う児童の育成』を推進しています。

2 見沼の豊かな自然環境を生かし、地域での体験活動の重視した教育活動を推進しています。



■所在地：さいたま市見沼区東宮下 215 番地 1

■電話：048-685-3652

■FAX：048-685-5119

■交通：東武アーバンパークライン七里駅徒歩 30 分

01 地域の米作りから学ぶ

田植えから稲刈り、そして秋祭りに至るまでの体験活動へ



校区に広がる見沼たんぼの一部をお借りし、地域の農家の協力を得て、「学校ふれあい田」として、全学年で春には田植え、秋には稲刈り、そして収穫した米を活用した秋祭り「宮下まつり」を企画・体験する活動を行っている。



春、1 学年児童は、田んぼの泥に苦戦しながら上級生の手助けもあって、稲の苗を植える。学年が上がるごとに田植えの手つきや、稲刈りの鎌の扱いに慣れ、6 学年ともなると友達と協力しながら、あっという間に田に実った稲穂を収穫していく。収穫後は、「東宮下米」として販売を行った。また、地域の稲作指導者を招いて、稲わらを使った児童によるミニほうき作りやリース作りなどの体験活動を行った。

5 学年では、総合的な学習の時間のテーマを「東宮下米づくりを受け継ごう」とし、地域の米作りについて調査・研究した内容を社会科の学習において発表している。

02 ヨーロッパ野菜作りから学ぶ

キャリア教育の視点から、児童の「自立」につながる活動へ



6 学年の職業体験を通じて、会社づくりから利益の運用までの流れを知り、社会人として必要な資質・



能力を身に付けることができるように「ヨーロッパ野菜づくりと販売の工夫」を取り上げ、学習を進めている。

さいたま市内の種苗会社から学習のために苗を供出していただいており、地域連携コーディネーターを通じて連携を図りながら、学級担任が、地域の企業の力を借りて学習を進めている。

児童は、学校畑でヨーロッパ野菜を植えて育てている。害虫が発生しても、農薬を使わずに育てる難しさを実感したり、水はけを良くするための側溝づくりや、防風ネットを張るなどの工夫を学んだりしている。また、実際に働く方の話を聞いて販売の工夫を学び、収穫した野菜を実際に販売し、学校に還元していく等の働く喜びを実感させる活動を行っている。